

9/5 しらかわ地域企業展示交流会  
●東京第一ホテル新白河（新白河駅前）

しらかわ地域のものづくり企業を紹介し、地域産業の活性化を図ることを目的に開催され、70の企業・団体が独自の技術・製品などをPRしました。招待された高校生は、各企業の担当者に事業概要や勤務内容などを熱心に質問していました。



▶企業の担当者から説明を受ける高校生

9/8 柿の木文庫が閉館  
●同文庫（みさか）

20年間ありがとうございました

平成10年の開設以来、私設図書館として地域の読書活動に貢献してきた「柿の木文庫」が、9月末に惜しまれつつ閉館しました。8日には、東南アジア（今回はミャンマー）に絵本を送るため、子どもたちによる最後の翻訳作業が行われました。

同文庫代表・石村宮子さんが私財を投じて買い求めたり、国内外の支援者や財団からの援助によって集められた約7,000冊の蔵書は、市内の保育園や小学校、児童クラブに寄贈される予定です。



▲石村さん（前列中央）と翻訳した絵本を手にする子どもたち

9/7 ニッセイ名作シリーズ白河公演  
●コミネス

コミネスと（公財）ニッセイ文化振興財団の主催（協賛：日本生命）により、物語付きクラシックコンサート『アラジンと魔法のランプ』が公演されました。同財団は「豊かな情操」や「多様な価値観」を育むことを目的に、全国各地で優れた舞台芸術に触れる機会を無料で提供しています。

今回、市内の小学1・2年生約1,100人が本物の舞台芸術に触れ、拍手や声援を送っていました。



▲仙台フィルの演奏に合わせて歌や踊りを楽しみました

9/8 しらかわ郷里マラソン  
●東風の台運動公園（東釜子）ほか

全国各地から集まった1,400人を超えるランナーが各コースを駆け抜け、沿道からは熱い声援が送られました。5コース24種目の競技のほか、ランニングレッスンやお笑いライブが行われ、会場を盛り上げました。



▲がんばれゆうすけさん（中央）と一斉にスタートする出場者

8/24 高校生と会津大学との交流事業  
●会津大学

「白河市と会津大学との産業振興に関する基本協定」の一環として、ITやコンピューター分野に関心を持つ市内の高校生が同大を訪れ、専門的な知識・技術を学びました。

参加した高校生は「講義が分かりやすく、プログラミングの基礎が理解できた。大学の雰囲気や特徴を知り、将来の選択肢が広がった」と感想を話しました。



▶同大黒川弘国上級准教授の講義を受ける高校生

9/3 監査委員会決算審査意見書提出  
●市役所本庁舎

有賀秀晴監査委員・縄田角郎監査委員から市長に「平成29年度一般・特別会計歳入歳出決算書等に対する審査意見書」が提出され、有賀委員は「決算諸表や予算の執行ならびに基金の運用状況などは適正である」と報告しました。

また、市の貴重な財源である現年度市税（市民税・固定資産税・軽自動車税など）の収納率が99.33%で、県内13市で1位になったことにふれ、市民の納税意識の高さに敬意を表しました。



※監査委員は、市の事務が予算・議決・法令などに基づいて適正に行われているかを審査します。

8/27 サッカーU-20女子W杯 初優勝！  
遠藤純さんが来庁  
●市役所本庁舎

フランスで行われたFIFA U-20（20歳以下）女子ワールドカップで全試合に出場し、日本代表の初優勝に貢献した遠藤純さん（白一小卒・ふたば未来学園3年）が、優勝報告に訪れました。

「見る人に感動や勇気を与えられる選手になりたい。目標は、なでしこジャパンとしてオリンピックに出場すること」と語る遠藤さん。今後の活躍に目が離せません！



▲鈴木市長に大会への思いや優勝した感想を話す遠藤さん

8/29 日本郵便と協定締結  
●市役所本庁舎

市と日本郵便㈱は「郵便局のみまもりサービス」をふるさと納税の返礼品とすることに関する協定を締結しました。

これは県内初の取り組みで、本市へのふるさと納税の返礼品として、郵便局員が地元に残る両親などの自宅を訪問し、生活状況を報告するサービスを選べるようになります。家族の絆・安心の手助けになることが期待されます。



▶締結式での中江紳悟同社東北支社長と鈴木市長